

今週（11月17日から11月21日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コール O/N物は、引き続きビットサイドからの調達ニーズが強く、出合いの水準は0.475～0.478%が中心となった。また、試し取りが行われた影響により、加重平均レートは18日(火)に0.478%、19日(水)に0.479%とやや上昇した。

ターム物は、1W～3Mまで幅広い期間で、0.47～0.6%台で引き合いが散見された。

日銀当座預金残高は、週初490兆円強から始まった。その後は国債発行などにより減少する展開となったが、減少幅は小幅に留まったことから、21日(金)は490兆円弱での着地見込みとなった。

●債券レボ市場

今週のGC O/Nは、0.50～0.51%のレンジでの取引となった。週を通してオファーの層が厚く、レートは高止まりとなった。

SCIは、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビットが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが底堅く推移した。

19日(水)に実施された1Y物入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも底堅く推移した。

21日(金)に実施された3M物入札は事前予想に比べ強い結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは出合いは見られなかった。

●CP市場

今週のCP市場は、電気・ガス業、鋳業、小売業など複数の業態で大型発行が行われた。

市場発行残高は、23兆円台後半から始まり、その後は増加傾向となり、20日(木)には24兆円台後半まで達した。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移し、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
11/17 (月)	50,323.91	1.730	154.66	0.477	0.498	4,901,900
11/18 (火)	48,702.98	1.745	155.30	0.478	0.498	4,892,700
11/19 (水)	48,537.70	1.765	155.45	0.479	0.498	4,890,100
11/20 (木)	49,823.94	1.815	157.16	0.477	0.501	4,887,800
11/21 (金)	48,625.88	1.780	157.40	0.478	0.504	4,899,000

来週（11月24日から11月28日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
11/24 (月)	振替休日			
11/25 (火)				9月の米生産者物価指数 9月の米小売売上高 8月の米企業在庫 9月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数
11/26 (水)	10月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) 9月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	40 Y 11/27発行 4,000億円	交付税借入 12/4借入 13,000億円	米ページブック 11月の米CB消費者信頼感指数 9月の米耐久財新規受注 11月のシカゴPM景況感指数
11/27 (木)	野口審議委員 大分県金融経済懇談会における挨拶			New York祝日(Thanksgiving Day)
11/28 (金)	11月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 10月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 10月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 10月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 10月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 10月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	TDB 3M 12/1発行 43,000億円	2 Y 12/1発行 27,000億円	

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
11/24 (月) 日銀予想							0	0	
11/25 (火) 日銀予想	▲ 700	▲ 300	▲ 1,000	CP等買入 社債等買入 国債補充	▲ 700 ▲ 300 2,300		1,300	300	TDB3M発行▲43,000償還43,000 流動性供給▲7,000 国有林野借入▲700償還859
11/26 (水) 弊社予想	▲ 500	▲ 2,500	▲ 3,000	共通担保	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 11,000	交付税借入▲13,000償還11,000
11/27 (木) 弊社予想	▲ 500	▲ 4,200	▲ 4,700				0	▲ 4,700	40Y発行▲4,000
11/28 (金) 弊社予想	▲ 1,100	3,000	1,900				0	1,900	地方譲与税譲与金の払い 交付税借入▲13,000償還11,000
週 間 合 計	▲ 2,800	▲ 4,000	▲ 6,800	—	▲ 6,700	0	▲ 6,700	▲ 13,500	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれることから、レートは0.477%近辺での推移が予想される。債券レポ GC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、レートは0.47～0.51%近辺での推移が予想される。短国市場は、28日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場では、月末発行週にあたり、案件がどこまで膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、27日(木)に野口審議委員 大分県金融経済懇談会における挨拶、28日(金)に11月の都区部消費者物価指数、10月の労働力調査(完全失業率)、10月の一般職業紹介状況(有効求人倍率)、海外では、25日(火)に9月の米生産者物価指数、9月の米小売売上高、8月の米企業在庫、26日(水)に米ページブックなどが予定されている。米ページブック（※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入